

令和6年7月30日  
山口県病虫害防除所

## 果樹カメムシ類の発生状況と防除対策について

果樹カメムシ類の発生は、注意報第1号（4月23日付発令）、技術資料第2号（6月6日付発表）を発表し、防除の徹底を呼びかけているが、依然として多い状況が続いています。ナシ、リンゴ、カンキツ等を中心に被害が発生するおそれがあるので、防除対策を徹底してください。

### 1 対象作物 果樹全般（ナシ、リンゴ、カンキツ等）

### 2 病虫害名 果樹カメムシ類

（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）

### 3 発生状況

- （1）予察灯（県内4か所、6月21日～7月20日合計）における誘殺数は、3,484頭（平年154.4頭）で平年に比べ多かった（図1）。
- （2）フェロモントラップ（県内4か所、6月26日～7月25日合計）におけるチャバネアオカメムシの誘殺数は、58,900頭（平年2,754頭）で平年に比べ多かった（図2）。
- （3）スギ・ヒノキの毬果量調査（6か所、6月下旬調査）では、スギ、ヒノキの着果程度は平年に比べ少なく餌量が不足しており、果樹園への飛来は続くと懸念される。

### 4 今後の予想

- （1）発生量 多
- （2）発生時期（飛来時期） 8月上中旬

### 5 防除対策

- （1）本年は、餌となるスギ、ヒノキの球果が少なく、園地への飛来が継続することが予想されるため、果樹カメムシ類の飛来を確認したら速やかに農薬の散布を行う。
- （2）夕方から夜間に園地内または園地周辺の外灯等を観察し飛来状況を確認する。
- （3）薬剤を散布する際は、別表「果樹カメムシ類に登録のある主な薬剤」を参考に行う。

### 6 防除上注意すべき事項

- （1）薬剤散布の際は、農薬使用基準を遵守し、周辺作物への飛散を防止するとともにミツバチ等に危害を及ぼすことがないように十分注意する。
- （2）今後の農作物病虫害発生予察情報を病虫害防除所のホームページなどで確認する。  
(<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22321.html>)

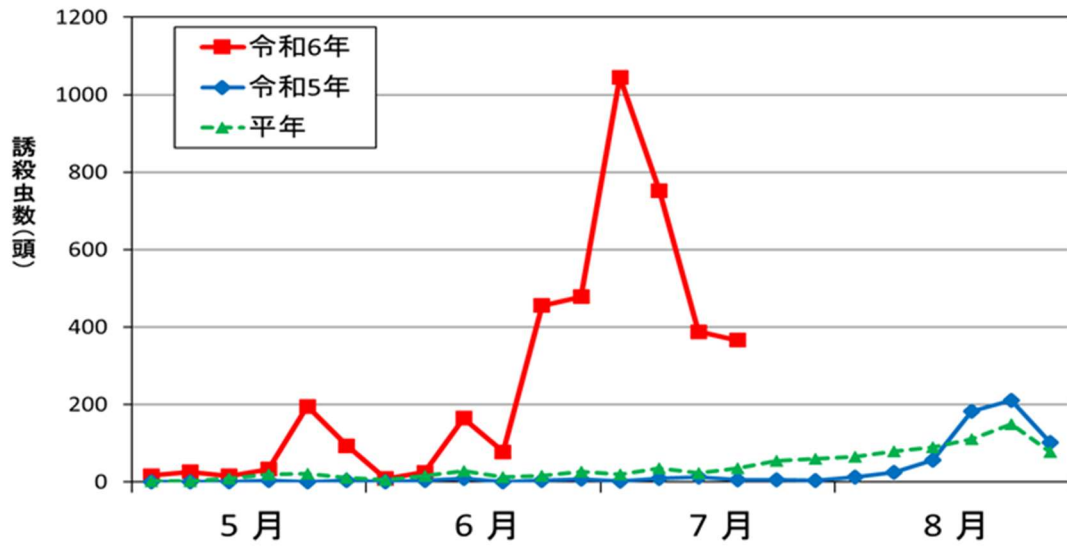


図1 果樹カメムシ類の予察灯誘殺数(県内4か所合計)

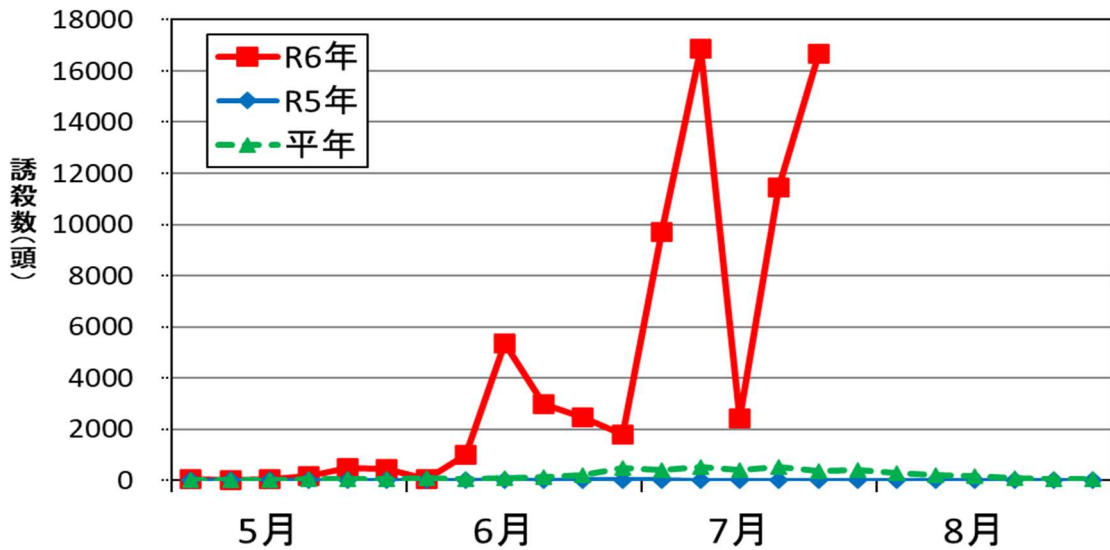


図2 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数(県内4か所合計)

(主要な果樹カメムシ類)



チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ



クサギカメムシ

(果樹カメムシ類の被害)



ナシの被害



モモの被害



カンキツの果実落下被害



餌として吸汁被害をうけたヒノキ球果

表 果樹カメムシ類に登録のある主な薬剤

(令和6年7月30日現在・山口県病害虫防除所作成)

殺虫剤 コード (系統) ※1	農薬名	登録のある作物および使用方法						残効期間 ※2 (被害防止効果)
		カンキツ	ナシ	モモ	リンゴ	カキ	キウイ フルーツ	
4A (ネオニコ チノイド)	アクタラ 顆粒水溶剤	2,000倍 14日前 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 7日前 2回以内	2,000倍 3日前 3回以内		10日程度  * アドマイヤー 顆粒水和剤は 1,000倍の場合、 残効がやや 短くなる
	アドマイヤー 水和剤		1,000倍 3日前 ※3 2回以内	1,000倍 3日前 ※3 2回以内		1,000倍 7日前 ※3 3回以内		
	アドマイヤー フロアブル	2,000～ 5,000倍 14日前 ※3 3回以内		5,000倍 3日前 ※3 2回以内			2,000倍 前日 ※3 2回以内	
	アドマイヤー 顆粒水和剤 *	5,000～ 10,000倍 14日前 ※3 3回以内	5,000～ 10,000倍 3日前 ※3 2回以内	5,000～ 10,000倍 3日前 ※3 2回以内	5,000倍 3日前 ※3 2回以内	5,000～ 10,000倍 7日前 ※3 3回以内		
	アルバリン (スタークル) 顆粒水溶剤	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	1,000～ 2,000倍 前日 3回以内	
	ダントツ 水溶剤	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	2,000～ 4,000倍 7日前 3回以内	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	2,000～ 4,000倍 7日前 3回以内	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	
3A (ピレスロ イド)	テルスター 水和剤	1,000～ 2,000倍 前日 3回以内	1,000～ 2,000倍 前日 2回以内	1,000倍 14日前 2回以内		1,000～ 2,000倍 14日前 2回以内		10日程度
	テルスター フロアブル	3,000～ 6,000倍 前日 3回以内	3,000～ 6,000倍 前日 2回以内	3,000倍 前日 2回以内	3,000倍 前日 1回以内	3,000～ 6,000倍 3日前 2回以内	3,000倍 前日 2回以内	
	マブリック 水和剤20	2,000～ 4,000倍 45日前 ※21日前 2回以内	2,000倍 30日前 2回以内			2,000～ 4,000倍 30日前 2回以内		
	アグロスリン 水和剤	2,000倍 7日前 3回以内	1,000～ 2,000倍 前日 3回以内	1,000～ 2,000倍 前日 5回以内		1,000～ 2,000倍 前日 3回以内		5～7日
	アディオ ン乳剤	2,000倍 14日前 6回以内	2,000倍 前日 2回以内	2,000倍 7日前 6回以内		2,000～ 3,000倍 7日前 5回以内		
	アーデント 水和剤		1,000倍 7日前 3回以内	1,000倍 前日 3回以内		1,000倍 7日前 3回以内		
1B (有機リ ン)	スミチオン 水和剤40		800～ 1,000倍 (有袋)14日前 (無袋)21日前 6回以内	800～ 1,000倍 3日前 6回以内	800～ 1,000倍 30日前 3回以内	800～ 1,000倍 30日前 3回以内		1～2日
28 (ジアミ ド)	テツパン 液剤		2,000倍 前日 2回以内	2,000倍 前日 2回以内	2,000倍 前日 2回以内	2,000倍 前日 2回以内		-
2B (フェニ ルピラゾ ール)	キラップ フロアブル				2,000倍 14日前 2回以内	2,000倍 7日前 2回以内		7～10日

※1 数字と記号はIRAC(殺虫剤抵抗性対策委員会)による作用機構分類コード

※2 残効期間は他県、日本植物防疫協会およびメーカーのデータを参考に作成した。  
あくまで目安であり、天候などの条件で短くなる場合がある。

※3 ただし、露地の場合は発芽期から開花期を除く